

第3回 関町病院リハビリ科主催講習会

主催：関町病院

開催日時 平成19年5月13日（日） 14：00～19：00

開催場所 文京学院大学 ふじみ野キャンパス

講師 柿崎 藤泰（文京学院大学 理学療法学科 助教授）＋助手2名

参加者 当院理学療法士11名＋他院理学療法士30名 合計41名

今回は過去最高人数の41名の理学療法士が集まりました。



今回の講習会は実技中心でした。前回、足底挿板（インソール）の実技が途中で時間になってしまったので、その続きから行いました。靴の中敷きを調整する事で、

(1) 姿勢の調節

(2) 身体の伸展機構 呼吸運動（体幹機能）の改善、維持

の効果を期待して行います。まずはどのようなインソールを作成するのかを歩容や足関節の動き、他部位の代償を確認しながら、ポロン（中敷や直接足部に貼るクッション材）やテーピング（エラテックス）を利用し、歩行を確認したり、被験者の感じを聞きながら調整していきます。最後に3～6mmのポロンをグラインダーで削り、インソールを作成します。

足部の機能をしっかりと理解し、足部異常がどのようにして、歩容や姿勢変化・痛みとつながっているのかを考察しながら微調節していきます。テーピングのちょっとした強弱や、インソールの高低によって、被験者の歩容や姿勢・感じ方が変化していきます。ちょっとした加減で自分が狙っていることとは正反対の反応が起こってしまうこともあり、難しい技術です。

□ 講習内容

★ 足底挿板

- ・ 足部の機能
- ・ 距腿関節
- ・ 距骨下関節
- ・ 横足根関節 その機能と仕組みについての講義
- ・ 足根中足関節
- ・ 列

★ 実技

- ・ 足底挿板作成デモ



実技風景

PT'S EYE

～理学療法の専門性を考える会～

当院主催の講習会も第3回を迎えることができました。今後も講習会を開催していく関係で、

ピーティーズアイ

関町病院リハビリ科主催講習会からPT'S EYE ～理学療法の専門性を考える会～ に改名しました。

今後は PT'S EYE ～理学療法の専門性を考える会～ として、講習会を企画・運営していきたいと考えています。

<PT'S EYE（Physical Therapist's eye）とは>

直訳すると『理学療法士の目』。理学療法士として患者様の障害に対して、何が問題・原因で悩んでいるのか、痛いのかなど、その問題や原因を理学療法士として見抜く「目」「能力」を鍛えていこうという意味を込めてPT'S EYEと名づけました。また副題として～理学療法の専門性を考える会～とし、理学療法士としてなにができるのか、他職種にはできない理学療法士だからこそできることとはなんなのか、について考える会にしたいという思いを込めて名前をつけました。

<会則>

第1条（名称）

本会をPT'S EYE ～理学療法の専門性を考える会～ という。

第2条（本部）

本会は本部を医療法人社団遼山会関町病院リハビリテーション科に置く。

第3条（目的）

本会は理学療法の理論・技術の講習会、症例検討会を通して統一した方向性でリハビリテーションを行える環境を作る事を目的とする。本会を意見交換の場として、当院ならびに他院との交流を深める場とする。

また、理学療法における知識・技術の向上に努め、もって理学療法の発展、当院の発展に寄与する事を目的とする。

第4条（事業）

本会は前条の目的を達成する為に、次の事業を行う。

- 1) 講習会の開催
- 2) 評価・治療検討及び症例検討会 1回／週（毎週水曜）
- 3) 研究及び調査活動 随時

第5条（会員）

- 1) 関町病院リハビリテーション科 理学療法士
- 2) 本会の目的に賛同したもの